

国際ロータリー第2580地区（東京・沖縄）

東京武蔵村山ロータリークラブ

Tokyo-Musashimurayama Rotary Club

週報 No.1583

2004-05年度 国際ロータリーテーマ 「ロータリーを祝おう」 会長 グレン E. エステス. シニア
国際ロータリー 第2580地区
2004-05年度ガバナー 小堀 啓介



東京武蔵村山ロータリークラブテーマ

「元気、やる気、根気（三気）を

9月は新世代のための月間です。

「足元から地道な奉仕活動を」

第33代クラブ会長 清水 高彦

本日の例会
全員クラブ協議会

第1584回
例会
2004. 9. 1

次回例会案内【9月8日(水)】
卓話 ボーイスカウト日本連盟
小林 孝之助 様

第1583回例会報告

司会 石井 賢司 SAA委員

点 鐘

(清水 高彦 会長)

斉 唱

奉仕の理想

来客紹介

(清水 高彦 会長)

(なし)

出席報告

(田代 純則 出席委員)

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
33名	28名	87.88%	修正なし

○ 事前メーカーキャップ
波多野 稔 会員 → 福生中央RC

会務報告

(清水 高彦 会長)

- 規定審議会 決議報告書が届いています。
- ロータリー100周年記念専門職務奉仕賞についての連絡が届いています。
- 地区大会案内リーフレット訂正
正しくは、大会 2日目 <11月15日(日)> 本大会
(午前の部) 展示棟
9:30 点 鐘
ガバナー 挨拶
物故会員に黙祷
来賓招待者・参加クラブ紹介
- 伊奈平苑より 盆踊り大会 出席礼状が届いています。
- 第11回 福祉まつりの案内
9月5日(日) 10:00~ 市民総合センター
- 交通安全協会より「交通安全市民の集い」の出席依頼
9月4日(土) 14:00~ 市民会館 大ホール
- 第3回 分区連絡会の案内
10月12日(火) 16:00~ 岩蔵温泉 かわ村
- 意義ある業績賞の申請 12月20日(月)まで

幹事報告

(藤野 豊 幹事)

- 例会変更
福生中央RC 9月8日 → 休会
- ハギオ基金より 評議員会 開催案内が届いています。
9月21日(火) 16:00~ 会議 終了後 懇親会
弘済会館 4F 椿の間

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日
◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
◎ 会長 清水 高彦 ◎ 幹事 藤野 豊
○ 副会長 後藤 正次 ○ 副幹事 原田 友義
□ 会報雑誌委員長 原田 友義 副委員長 野島 征
委員 石井 源一郎 宮崎 茂夫

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店2階
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
◇ 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
◇ クラブ事務局
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252
Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp

「毎月1人あたり」 ロータリーの全世界での探求、毎月1人の新会員 — 会員増強に協力を!!

会員増強委員会

ロータリーの全世界での探求とは？

ロータリーの全世界での探求とは、世界規模でロータリー会員の増加を目指す主要キャンペーンです。

ロータリーの全世界での探求がなぜ必要なのか？

ロータリーは、人道的な諸問題の解決にあたって世界に大きな影響を与える可能性をもった世界的な団体です。重要な人道的および教育的活動を拡大し、平和、理解並びに親善に向けての推進活動を充実させるために、ロータリーは最近の会員減少を防止するのみならず、著しい増加を図らなければなりません。

ロータリーの全世界での探求の目的とは？

2000-01年度のわれわれの目標は、一つのクラブにつき月に有資格の新会員を1名入会させ、年度末までに一つのクラブにつき新会員5名入会させることです。各地区の目標は、三つ以上の新クラブを結成することです。

ロータリーの全世界での探求の責任者とは？

すべてのロータリアンには、事業および専門職務における有資格の男女とロータリー会員になれる素晴らしいチャンスをつかち合う責任と機会があります。

ロータリーの全世界での探求は、いつ開始されるのか？

すべての良きロータリアンが前に進み出て、ロータリーの重要性を宣言すべき時は今ですが、探求の正式な開始日は2001年7月1日です

ロータリーの全世界での探求は、いつまで続けられるのか？

探求は、ロータリーが善を目指す史上時最強の団体となるため、すべてのロータリアンに最初のビジョンとわれわれの団体を拡大したいという根本的な希望を浸透させるよう計画されています。このような崇高な目標を達成するために、毎年会員を更新し、強化しつつ、われわれはこの探求を無期限に続けなければなりません。

◎なぜ会員を増強しなければならないのか

1. 毎年会員の自然減が5~10%あります。転勤、退職、事業所の区域外転出、クラブに対する期待はずれ、事業不振、クラブ内における違和感（会員間、家族間、クラブ内組織の問題など）、会費以外の臨時徴収などがあります。その他にも病気、死亡、出席、例会が面白くない、会費が高い、臨時徴収が多い、奉仕への無関心、形式主義への偏重、規則過多など、退会の理由は多岐にわたっています。

— このためにも毎年新しい会員の補充が必要です。

2. 組織を生き生きとさせるためには常に新しい血の導入が必要であります。新しい血は増強であり、分裂は拡大です。

ロータリアンにとって会員増強と拡大こそロータリー活動の第一歩といえます。

3. クラブ活性化のためにも老、壮、青のバランスを保ち若返りも大切です。

4. 毎年、RI会員の最重要課題となっています。

5. 誰かの推薦によって私たちは入会しました。推薦への恩返しをしなければなりません。

6. 会員の増強はクラブの財政上や、クラブの奉仕活動推進のためにも大きなプラスになります。

7. ガバナーの任務の最大の課題が会員増強とクラブの拡大です。

8. クラブ内の奉仕活動上、プロジェクトの数や規模にとって有利となります。

9. 可能な限り地域に存在する職業分類を網羅することです。

10. 会員が多くなって現在の会場では狭すぎる時には拡大を検討します。

世界的には2001年7月~2002年6月 1,243,000名の会員数が2004年3月の公式発表で1,211,723名と31,277名の減少となって居り、日本では2002年6月 111,995名が2004年5月で106,684名と5,311名の減少、我が2580地区でも2001年7月 4,171名が2004年6月で3,669名と502名の減少。このままの状況で推移するとロータリーの根幹に掛る危機的状況であります。あらゆる機会を捉えて会員の拡大に当たりたいと考えて居りますので絶大なる御協力をお願いします。

[担当：野島]

委員会報告

○IM実行委員会について（栗原 高明 IM実行委員長）

- ・IM実行委員会組織図（案）を配布しました。
- ・9月1日(水)の例会終了後に、IM実行委員会の打合わせをします。

○ロータリー財団への寄付について（川島 利男 財団委員長）

来週からロータリー財団への寄付を集めますので、よろしくをお願いします。



ニコニコBOX（比留間 孝司 親睦委員）

- 藤野豊幹事⇒先日の納涼会では親睦委員会の皆さんに大変お世話かけました。有難うございます。
- 峯岸一郎会員⇒先週の納涼会はたくさんの参加ご協力ありがとうございました。無事終了することが出来ました。
- 石井賢司会員⇒先週のピヤガーデン例会では、大変楽しく、美味しく有意義な会でした。関係者の皆様に感謝して!!

◆ 今回計 13,000円 累計 315,000円